

NORTHERN
Horse Park
NEWS RELEASE
ノーザンホースパーク ニュースリリース



報道関係各位

2025年12月3日

2025年度JRA顕彰馬に輝いたサラブレッドの新スポット誕生

「イクイノックス ブロンズ像」公開のお知らせ

2025年12月4日（木）10:00～

株式会社ノーザンホースパーク（所在地：北海道苫小牧市 代表者：代表取締役 吉田 勝己）が運営する、北海道の大自然のなか、馬とのふれあいを楽しめる自然公園「ノーザンホースパーク」は、「Brilliant Moments～輝く時間」をパーザスにサービスを提供しています。

このたび、彫刻家・堤磐夫氏が制作した、競走馬「イクイノックス」のブロンズ像を12月4日（木）10時より公開します。



ノーザンホースパークは、競走馬の生産・育成を手がけ、国内外で活躍するサラブレッドを輩出してきた「ノーザンファーム」を経営母体として運営しています。1989年の開園以来、馬の賢さや美しさを伝え、日本の馬事文化の普及および引退競走馬のセカンドキャリア支援を目的に歩んできました。私たちは、訪れるゲストの皆様に、数々の名馬たちが遺したレガシーとともに、馬事文化を体験いただけるさまざまな施設やアトラクションを設けており、このたび、新たな名馬の栄光の軌跡を謳うスポットを新設しました。

新スポットとなる「イクイノックス ブロンズ像」のモデルとなったイクイノックスは、ノーザンファーム生産のサラブレッドで、現役最終年の2023年には国際競馬統括機関連盟（IFHA）が発表した「[ロンジンワールドベストトレースホースランキング](#)」の年間ランキングで世界1位に輝き、現代競馬を象徴する一頭となりました。その圧倒的な走りで多くのファンを魅了し、引退したのち、翌2024年からは種牡馬として活動を開始。早くも次世代へ期待が寄せられています。

さらに本年、イクイノックスは日本の競馬史に名を残す類稀な活躍をしたサラブレッドに贈られる「JRA顕彰馬」に選出されました。ファンの皆様とその喜びとともに輝かしいその時間を分かち合うべく、彫刻家・堤磐夫氏によるブロンズ像を製作しました。

イクイノックスがジャパンカップを制した際、ルメール騎手がレース後のインタビューで「賢いし、乗りやすいし、おとなしい。ポニーみたい」と、卓越した能力と温和な気性を称賛したことに鑑み、ポニー専用パドックや屋外ショー会場を擁する「ポニーテラス」に設置します。来園者の皆さまには同馬がもつ“強さの中に宿る愛らしさ”を、より身近に感じいただけます。

ノーザンホースパークでは今後も「Brilliant Moments～輝く時間」をゲストの皆様に提供すべく、豊かな自然環境を守り、人と馬とともに生きる持続可能な日本の社会と、馬事文化の発展に貢献すべく運営を行ってまいります。

◆イクイノックス ブロンズ像 概要

【原型制作】堤磐夫（つつみ いわお）氏

【謹 鑄】黒谷美術株式会社

【彫刻仕様等】台座 / H850×1500×600mm 銅像 / H1060×1790×375mm

◆イクイノックスについて

2019年3月23日生

父 キタサンブラック 母 シャトーブランシュ（母の父 キングヘイロー）

生産 ノーザンファーム（北海道安平町） / 馬主 シルクレーシング

調教師 木村 哲也氏

10戦 8勝（うち海外1戦1勝）

おもな勝鞍 / 2022年 天皇賞（秋）、有馬記念、2023年 ドバイシーマクラシック、宝塚記念、天皇賞（秋）、ジャパンカップ（すべてG1）

2022年および2023年の[JRA賞年度代表馬](#)に選出。2023年度ロンジンワールドベストトレースホースランキング1位受賞。2025年度JRA顕彰馬に選出。

◆ノーザンホースパークについて

馬の魅力を伝え、日本の馬事文化の発展に貢献することを目的に 1989 年 7 月に開園しました。北海道の雄大な自然と馬の魅力を伝え「輝く時間」を皆様にお届けすべく自然公園を運営しています。総敷地面積 48 万平方メートルという広大な敷地に約 80 頭もの馬がゲストを出迎えています。国内屈指の競走馬生産育成牧場のリーディングファームであるノーザンファームを母体とし、北海道のサラブレッド生産の歴史や馬の生態を学べる資料館など「楽しむ」だけでなく「学べる」プログラムも展開。また開園以来、引退競走馬のセカンドキャリア支援や馬の排泄物を利用した堆肥の活用など、事業に基づいた持続可能な社会を目指した取り組みも行っています。
